



# 05 雨だからできるプログラム 準備から一緒に考える企画

日時：2020年2月5日（水）10：00～12：00

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：11名

## ■次回はどうする？にまとめる

記憶の新しいうちに聞いておきたかった皆さんの感想や意見。思いつくままに発言していただいたことをあとでまとめて「次回はこんな内容にしよう！」とプランとしてまとめました。開催する日程や、プ

ログラムの内容のほかに、イベントの開始と終わりを知らせる告知などの来場者への案内方法のほか、お客さんが「(言葉が不適切かもしれませんが) 勝手に遊ぶ」プログラムや、「雨だから実施できる」プログラムなど、これまで思いつかなかった切り口のプログラムも検討してみてもとの意見に。行政と市民の役割分担を見直し、準備の方法を検討する段階からかわれる仕組みづくりも検討することに！

## ■開催時期は11月第4土曜日

今回は事務局の都合で2月開催となったのですが…そもそもベストな日程はいつなのか？の話から始まりました。主な意見は次の通りです。

- ・(どんぐりまつりだから) どんぐりの時期(11月)
- ・落ち葉、紅葉のきれいな季節(12月)
- ・他のイベントと重ならない時期(11月下旬)
- ・皆さんの都合のよい日程(毎月第1土曜は外す)

出そろった意見を眺めながら「いつにするか？」考えた結果、11月の第4土曜日に決定。

これまで、日程は事務局担当が(勝手に)決めていたのですが、今回はこの日程にて実施することにしました。何事も皆さんで話し合い、納得を得ながら決めることが大切！事務局担当としても、今後は日程から話し合うことにしようと思っています。

## ■来場者だけで(勝手に)遊べるプログラム

毎回モノ作りのプログラムが多いどんぐりまつり。未就学の子どもと保護者にとっては「もうちょっと大きくなってから来ようね！」なイベントになっています。今回の来場者で目立ったのが未就学の子どもとその保護者。皆さんにこのことを伝え、誰もが楽しめる内容のプログラムを考えてみることにしました。

おそとのプログラムを担っていたチームからの発言であったのが「地面に線を引いてケンケンパをしていた」や「林の中で小枝を拾って秘密基地みたいな

ものをつくっていた」などの来場者がいたこと。そもそもこのイベントは「森のどんぐりまつり」とのタイトル通り、史跡海会寺跡広場を会場にして遊び場を用意し、来場者に楽しんでもらうこと。それをきっかけに、施設利用を促すこと。施設利用を目的にしたコミュニティづくりをすすめること。

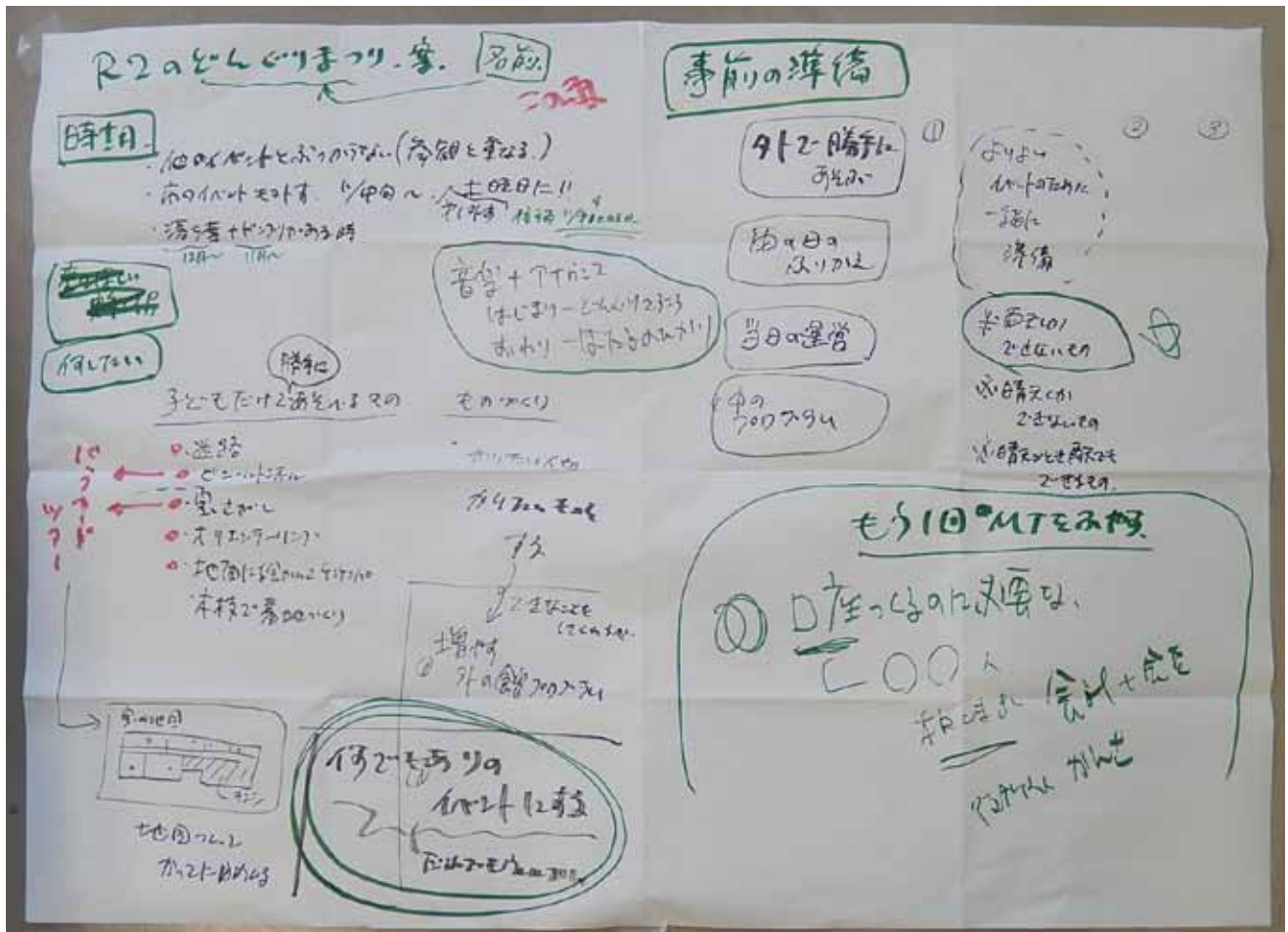
であれば、プログラムとしてコアメンバーと一緒に遊ぶだけのものもあっていいはず。具体的には…

- ・迷路
- ・ビニールトンネル
- ・宝探し
- ・オリエンテーリング
- ・ケンケンパ
- ・枝などを使った基地づくり などなど。

結構楽しそうだと意見に。次回は是非検討してみたい内容ばかりです。

## ■雨の日だからこそ遊べるプログラム

おそとのプログラムについて話し合っていたときに出了意見が「雨が降ったらどうするか？」。雨天中止にするか？代替のプログラムを用意するか？話し合っていたときにでたのが、「雨だからこそできるプログラム」を考えてみよう！この日は具体的にはアイデアは出なかったのですが、楽しそうなアイデアです。「雨＝プログラムなし＝楽しくない」ではなく「雨＝だからこそできるプログラムを実施＝お得感」と感じられる内容のものを考えてみたいものです。



この日話し合った次回のどんぐりまつり、開催概要

### ■雨天の代替プログラム

おそとのあそびが雨天で実施できない場合、屋内で代替プログラムを実施することも可能です。埋文センターの1階は、イベント会場として開放したことはないのですが、ここを使うアイデアです。晴天時に森で宝探しを企画した場合、雨天はバックヤードツアー(=宝探し)に振り替えるなどの工夫。晴天時には絶対に立ち入ることのできないバックヤードを、雨天時には立ち入ることができるとなると、利用者にとって「雨だからこそ行ってみたい!」と思えるイベントになるかもしれません。

### ■音楽+アナウンス

いつ始めるのか?いつ終わるのか?放送を入れても聞こえない!などなど、けじめの意味でのはじめと終わりは重要です。話し合った結果、始まりは『どんぐりころころ』、終わりは「ホテルの光」をつかったアナウンスを実施することに。音源は混声合唱団のyさんに相談中です。

### ■皆さんと一緒に準備の方法から考える

事務局担当の都合で、2か月間3回のWSで内容を決め込み駆け足で当日を迎えていたどんぐりまつり。「もう少し丁寧に準備をしてみよう」との意見ができました。これまでは準備は事務局担当の仕事として、皆さんに一切相談することなく独断で進めてきたのですが、プログラムとかぶる分野については皆さんと話し合うことから始めてみようと思いました。たとえば「森で小枝を拾って秘密基地をつくる」のであれば、森の清掃時に小枝を残しておいたり。具体的には、プログラム企画→それに必要な会場の検討→一緒に会場を準備、といったところでしょうか?

### ■誰でもウェルカムのイベントに!

今回は、防災食を提供していただいた三嶋商事さんや、豚汁チームのせんなんタマーロさんが新規に参加してくれました。そもそも、イベントの目標の一つが、企画実施の担い手を増やすこと。次回に向けて一人でも多くの方とご一緒にしたいですね!

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで  
TEL:072-483-6789  
メールアドレス: maibun@city.sennan.lg.jp